

大杉東小学校応援団実践報告書

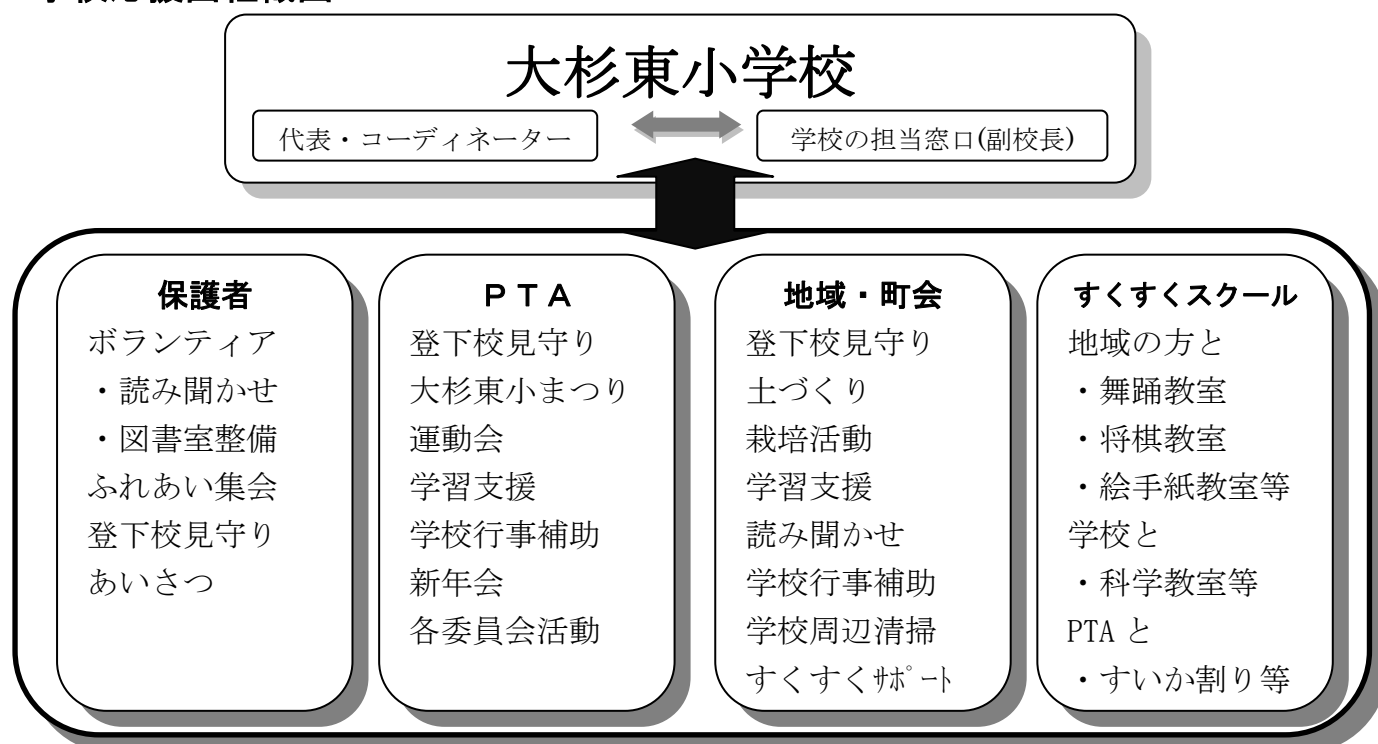
1 校長及び代表氏名

大杉東小学校長 村山 満
代表 竹田 泰弘

2 今年度の活動内容

応援団の種類	応援団の名称	活動内容
安全・安心	旗振り 朝の交通見守り 安全教室 校外学習の引率 運動会・マラソン大会	○登校時の安全を見守る。 ○通学路で登校の安全を見守る。 ○自転車教室等でのお手伝いをする。 ○校外学習をするときの安全支援をする。 ○周辺交通の安全確保をする。
学習活動	植物栽培支援 表現学習活動 親子学習活動 社会科学習支援 ふれあい集会	○野菜等の植物栽培の指導や体験の支援をする。 (生活科・理科・総合的な学習の時間等) ○乾燥した植物を素材とした工作等の指導や支援をする。 (図工科・生活科・総合的な学習の時間等) ○安全を見守り、運動やレクリエーション等の支援をして、一緒に楽しむ。(行事・総合的な学習の時間等) ○安全を見守り、昔の道具についての使い方等の社会科学習の支援をする。(社会科) ○地域の熟年者の方々を招いて、集会や給食を一緒に楽しむ。(行事・総合的な学習の時間等)
読書活動	読み聞かせ 図書室整備	○学級に入って本の読み聞かせをする。 ○本の修理や本の整頓、掲示物等の環境整備を行う。

3 学校応援団組織図



4 今年度の成果と今後の課題

<成果>

- ・土づくりボランティア（緑の環境整備・学校園・コンポスト等）活動では、地域のボランティアの方々によって、学校の畑や田んぼ、花壇などの環境整備を行っていただいている。今年度も、野菜がすくすくと育つことができました。子供たちも、その収穫に大喜びをした。緑のカーテンや給食残菜の堆肥づくり(コンポスト)も、継続して積極的に進められている。
- ・読み語りボランティア（及び図書室環境整備等）活動では、保護者や地域のボランティアの方々によって、主に朝読書の時間に、読み語りや本の紹介などを継続して行っていた。時には、パネルシアターやペープサートなど、いろいろと工夫してくださり、子供たちは集中して楽しんでいる。また、図書室の本の修理や掲示物などの環境整備を継続して行っただき、図書室がさらに利用しやすくなってきた。

<課題>

- ・土づくりボランティア（緑の環境整備・学校園・コンポスト）活動では、その活動内容と日程について、地域のボランティアの方々和各学年との連絡・調整を、年間の学習の見通しをもって、より細かく行っていく必要が継続してある。
- ・読み語りボランティア（図書室環境整備）活動では、参加してみたいなという気持ちがあっても、自分ができるかなと考えてしまい、自分から参加意思の声をだしにくい方も、まだまだいらっしゃるようである。どなたでも気軽に参加できるような体制を継続して整える必要がある。

5 代表より

今年度も、少しでも大杉東小学校の教育活動のお手伝いできればと、大杉東小学校の学校応援団の代表・コーディネーターとして関わらせていただきました。大杉東小学校応援団だよりも書かれてありますが、保護者や地域の皆様方には、登下校の見守りや学校周辺の清掃や夜間パトロール、土づくりや栽培活動、読み聞かせ、そして様々な形でのゲストティーチャーとしての参加・参画などを通じて大杉東小学校の教育活動を支えていただいています。まさに、日常の授業を支える有形・無形の応援団になっています。これからも継続して、学校と地域、家庭を結ぶお手伝いという応援をしていきます。子供たち自身が地域の一員としての自覚もてるよう協力して育てていきたいと思っています。

代表 竹田 泰弘

6 学校長より

学校・家庭・地域社会の連携・協力、そして、それぞれの教育力の発揮の大事さ。大杉東小学校「学校応援団」は、正にこの理念を実現したものであると強く感じています。日常の学習活動や学校行事をはじめ、子供の安心・安全な学校生活への頼もしい応援が継続されていること、また、皆様から大杉東小学校を、大事にいただいていることに心より感謝申し上げます。本年は、本校創立60周年の大きな節目を迎えます。学校応援団コーディネーター竹田泰弘様（前本校PTA会長）の推進により、学校・地域・PTA・すくすくスクール等との連携を強化し、一層のご支援をいただけますようよろしくお願いいたします。 校長 村山 満